

みずほCustomer Desk Report 2019/06/19 号 (As of 2019/06/18)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	108.57
TKY 9:00AM	108.55	1.1224	121.84	GBP/USD	1.2540
SYD-NY High	108.67	1.1243	121.87	AUD/USD	0.6853
SYD-NY Low	108.06	1.1181	121.07		0.6882
NY 5:00 PM	108.46	1.1195	121.39		0.6832
NY DOW	26,465.54	353.01	日本2年債	-0.2000	0.00bp
NASDAQ	7,953.88	108.86	日本10年債	-0.1300	0.00bp
S&P	2,917.75	28.08	米国2年債	1.8633	▲0.54bp
日経平均	20,972.71	▲151.29	米国5年債	1.8299	▲2.16bp
TOPIX	1,528.67	▲11.07	米国10年債	2.0570	▲3.29bp
シカゴ日経先物	21,210	115	独10年債	-0.3200	▲7.40bp
ロンドンFT	7,443.04	85.73	英10年債	0.8050	▲4.30bp
DAX	12,331.75	245.93	豪10年債	1.3650	▲3.90bp
ハンセン指数	27,498.77	271.61	USDJPY 1M Vol	6.20	0.12%
上海総合	2,890.16	2.54	USDJPY 3M Vol	6.37	0.07%
NY金	1,350.70	7.80	USDJPY 6M Vol	6.71	0.06%
WTI	53.90	1.97	USDJPY 1M 25RR	-1.30	Yen Call Over
CRB指数	176.10	1.68	EURJPY 3M Vol	6.60	0.15%
ドルインデックス	97.64	0.09	EURJPY 6M Vol	6.96	0.03%

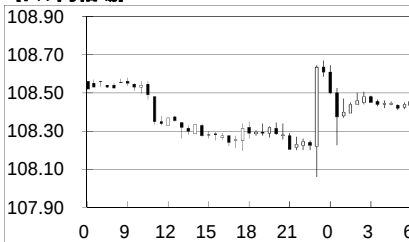
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月18日	10:30	豪 住宅価格指数(前期比/前年比)	1Q -3.0%/-7.4%	-2.6%/-6.9%
	17:00	欧 ドラギECB総裁 講演	「追加緩和は依然として政策ツールの一部」	
	18:00	欧 コアCPI・確報	5月 0.8%	0.8%
	18:00	欧 CPI(前月比/前年比)・確報	5月 0.1%/1.2%	0.2%/1.2%
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 7.8/-21.1	6.1/-5.6
	21:30	米 住宅着工件数/建設許可件数	5月 1269k/1294k	1239k/1292k

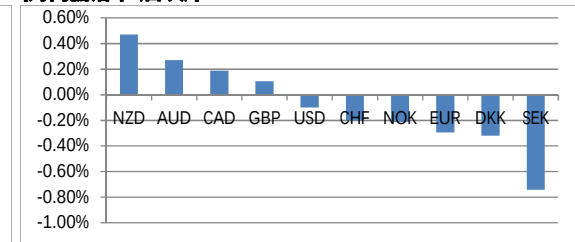
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月19日	08:50	日 貿易収支	5月 -1200.0b	\56.8b
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	5月 0.1%/2.1%	0.5%/2.5%
	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	5月 0.3%/2%	0.6%/2.1%
	23:00	欧 ドラギECB総裁 講演	-	-
6月20日	03:00	米 FOMC政策金利	- 2.5%-2.25%	2.5%-2.25%
	03:30	米 FOMC	-	-
	03:30	米 パウエル議長記者会見	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.00-109.00	1.1150-1.1250	120.70-121.70

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は下落後に急反発した展開となった。新潟で震度6強の地震が発生したことを受け、ドル円は一時108.06レベルまで下落した。しかしその後、来週のG20で米中首脳が会談するとのヘッドラインが出ると、米中貿易交渉への期待から、米株が大幅に上昇し、ドル円も一時108.68まで急伸しました。本日のドル円は動意薄の展開を予想。本日のFOMCに市場の注目が集まっており、結果発表待ちの様子見ムードが強まっていることから、ドル円は108円台半ばでの揉み合いとなりそうだ。

東京	東京時間のドル円は108.55レベルでオープン。利下げを決定した6月の豪中銀理事会の議事要旨が公表され、内容が「今後、追加の金融緩和が適切になる可能性の方が高い」との認識で一致した」と伝わると、追加利下げ観測の高まりから豪ドルで円高が進行。ドル円も108.50台から108.30台まで下落した。その後もじりじりと下落し、結局108.28レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、108.28レベルでオープン。固有の材料が出なかったこともあり108.20-35円の狭い値幅の推移に終始し108.21レベルでNYに渡った。ユーロは1.1235レベルでオープン。ドラギ総裁が「追加緩和は依然として政策ツールの一部」との発言を行うとユーロは急落。悪化した独6月ZEW景況感指数も相まってユーロ売りが強まり1.1181まで低下した。その後1.1196レベルでNYに渡った。ポンドは1.2533レベルでオープン。当日英時間夕方2回目の保守党党首選を控える中、離脱強硬派のジョンソン前外相の勝利を警戒するマーケットはポンド売りを続ける。一時1.2515まで下落し1.2520レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	NY市場のドル円は108.21レベルでオープン。朝方は米5月住宅着工件数と建設許可件数が予想を上回ったがドル円の反応は限定的だった。その後、新潟県で震度6強の地震の発生し、津波注意報が発令されたことが伝わると、リスクオフの円買いが強まり、一時108.06まで下落する。しかしその後、トランプ米大統領が「中国の習主席ととても良い電話会話をし、G20では時間をかけて会談する予定だ」との発言に米中通商協議再開への期待感の強まり、ドル円相場は反転し、108.65まで上昇する。買い一巡後は、「米政府、パウエルFRB議長解任の法的可能性を模索した」とのヘッドラインに一時108.23まで急落する場面もあったが、一時的な反応に留まり、その後は108.50近辺で振幅し108.46レベルでクローズ。一方、ユーロドルは早朝にトランプ大統領が「ドラギ総裁の発言はユーロを下落させ、米国との競争を不公平に容易にしている」と述べ、上下する場面も見られる中、1.1196レベルでNYオープン。午前はヘッドラインに反応し、一時的に1.12台を回復する場面もあったが、滞空時間には短く1.1190近辺での推移が続いた。午後にかけては同水準で小動きとなり、結局1.1195レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:ウー・玉井